

**1**  
公園のベンチは、誰もが楽しめる居場所。「こんにちは」「やあ」と公園のベンチに仲間が集まってきました。

**2**  
そこに白杖を使っている人がやってきました。どうやら空いているベンチを探しているようです。

**3** **4**  
ベンチを譲ろうと、男性二人が立ち上がりました。でも、なんとなく声をかけずに、だまって席を立ちました。電車などでもよくある光景ですね。



**5**  
あれ、せっかく譲ったのに座らないな。ふりかえった男性はげんなりした顔をしています。

**6**  
気づいた女性が立ち上がり声をかけました。「席あきましたけど座りますか?」

**7**  
「ありがとう。座りたかったけど、見えないので空いているかどうかかわからなかったんです」

**8**  
空いた席に座って三人で楽しく会話。みんなの楽しい居場所になりました。

小柳先生からひとこと

白杖を使っている人と、二つのグループの合わせて3者の役割が明快でメッセージが伝わりやすい映像になっていると思います。



あなたの気持ち、届いていますか?  
～声かけしないと、伝わらない!～



# みんなの楽しいまちの居場所

シーン  
**SCENE 1**



この映像のポイント!

視覚障害者は声をかけてもらわないと状況がわかりません。電車でも、黙って席をゆずられても、そのことに気づかず、後で分かったときお互い気まずい思いをすることもあるそうです。席をゆずる時は、一声かけましょう。急に体に触れたりせず、まずは正面から「声をかけている」ということがわかるように話しかけることが大切です。

ムービー ゴー  
**MOVIEへGO!**



公園は、みんなが気軽に集まって楽しめる「居場所」です。ある日の午後、公園のベンチで楽しそうに談笑するグループの前に、白い杖を使っている人が通りがかりました。どうやら座れるベンチを探しているようです。でも、彼女は目が見えないため、席が空いているかどうかわかりません。それに気がついたグループの人達がとった行動とは?